

ごあいさつ

平成から令和に変わり、新しい時代が始まりました。

これまでの21年間のあっとほーむでの保育活動、中高生の支援、社会人になった子たちとの交流を通して思うのは、これからの時代に必要なことは、「やりたいことをやりぬく力」であるということです。

なぜなら、私が21年間関わってきた子どもたちの中で、自分に自信を持ち、力強さを感じる子は、必ず「子どものころ、やりたいことをさせてもらえた」と言うからです。

単にマンガを読みたい、カードゲームやテレビゲームをやりたいという事とは異なります。

特に小学校4年生ごろからの思春期に、外に目を向け好奇心旺盛に子ども自身がやりたいと言う事、行きたいという所へ行けるかどうかポイント。親がやれる環境を整えてあげること、親以外の指導者や支援者にたくさん助けてもらうことでやり抜く力が身に付きます。

これまでの常識が通用しない新しい時代を生きるには、このような子ども時代の経験が大きな力になるのではないのでしょうか。

あっとほーむが、これまでずっと、子どもたちの“やりたい事”があり、“行きたい場所”であり続けて来れたのは、いつも新しいことに挑戦し、たくさんの人に助けられてきたからです。

新しい時代が始まった今、私自身も、あっとほーむに関わる子どもや大人も、みんながやりたいことをやり抜く力をあっとほーむで積み重ねられるといいなと思います。

認定 NPO 法人あっとほーむ 代表

小栗 ショウコ

